



## 続く被災地支援

大震災から間もない陸前高田市役所旧庁舎①と取り壊されて整地された旧庁舎跡地②



平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災以降、松田町では岩手県陸前高田市へ、さまざまな形で復興支援活動が続けてきました。今年も 6 月 21 日(金)から 2 日間、町消防団長以下 23 人で現地を訪れ、災害への対応の取り組みを学ぶとともに、津波到達地点に植樹された河津桜周辺の除草や施肥作業に汗を流しました。

### ■市の中心は高台に

陸前高田市消防本部の協力を得て、発災当時、消防職員として災害対応にあたった岩崎

亮消防長から実体験に基づいた貴重な話を伺う機会を得ることができました。

あの日から 2 年 3 カ月、大津波によって破壊された当時の市役所庁舎



は、すでに取り壊され、すっかり平地となりました。現在は、この場所から少し離れた高台に仮庁舎を建設し、業務に取り組んでいます。

岩崎消防長から話を伺った後、一行は同市高田町洞の沢の浄土寺を訪れ、町から寄贈した河津桜 4 本が植樹されている斜面の除草や、施肥作業を行いました。

### ■「桜ライン」を守る



▶戸羽大陸前高田市長  
④に義援金を手渡す小  
林賢吾庶務課長

今回訪れた浄土寺は、東日本大震災による津波の到達点を桜の木でつなぎ、避難する目安として後世に伝えようとする「桜ライン 311」の活動に賛同し、町から寄贈した 26 本の河津桜のうち最初の 1 本が植えられた場所です。

## 消防団員ら 23 人が 現地で支援の活動

### ■がれき片付いても

発災から 2 年 3 カ月が経過した陸前高田市では、今もなお 216 人の方が行方不明となっている(岩手県発表)ほか、いまだに仮設住宅には 2028 世帯、5976 人の方が生活されています。がれきなどはだいぶ片付いてきてはいるものの、復興という観点では、まだまだこれから、という状況であることに変わりはありませんでした。しかしながら、宿泊施設などにつ

## 被災から 2 年 3 カ月

いては、徐々にではありますが、市民の方々のご尽力もあり、復興への兆しが見え始めています。町では、今回の訪問に合わせ、役場庁舎 2 階に置いた募金箱に、ご協力いただいた陸前高田市への義援金を手渡すことができました。

町は、これからも陸前高田市を忘れずに応援していきたいと考えていますので、町民皆様のご理解、ご協力を引き続きよろしく願います。

第 36 回まつだ観光まつり・第 14 回あしがら花火大会 8 月 24 日(土)開催



観光まつり ●時間 15 時～  
●場所 酒匂川町民親水広場ほか

- 《パレード参加》 16 時～松田小学校前出発
- ①立花学園(チアリーディング・吹奏楽)
  - ②寄まつり囃子
  - ③開成町阿波踊り
  - ④松田さくら保育園児・松田幼稚園児
  - ⑤松田小・中学生奴
  - ⑥松田大名行列
  - ⑦立正佼成会まとい
  - ⑧みこし
- 《ステージ》 15 時～
- ・軽音楽ライブ
  - ・ダンス団体の共演
  - ・大盆踊り大会
  - ・和太鼓
- ※当日は交通規制が行われます  
詳細は、8 月 15 日のおしらせ号でご確認ください

### 花火大会

～松田町・開成町共催～  
●時間 20 時～  
●場所 酒匂川・川音川合流点の河川敷

### 松田山百ハッ火

●時間 19 時点火  
●場所 松田山山頂付近  
▼百ハッ火



【問い合わせ】町観光協会 ☎(85) 3 1 3 0